



平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年2月1日

上場会社名 株式会社ファンケル

(コード番号: 4921 東証第1部)

(URL <http://www.fancl.co.jp/>)

問合せ先 代表取締役社長執行役員
執行役員 管理本部長

藤原 謙次
芝 正二

TEL:(045)226-1200

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産……………年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2)無形固定資産……………年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

法人税等の計上基準……………法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

最近連結会計年度からの会計処理変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日 ~ 平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	66,251	3.3	3,783	53.5	3,979	52.6	1,434	64.6
16年3月期第3四半期	64,107	6.5	8,130	14.5	8,388	16.2	4,057	27.3
(参考)16年3月期	84,956		7,769		7,686		3,387	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	67.40	-
16年3月期第3四半期	183.80	-
(参考)16年3月期	154.57	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、輸出の伸長、企業収益の改善や民間設備投資の増加を背景に回復傾向にあるものの、個人消費の本格回復には至らず、依然として不透明な状況が続いております。

化粧品業界は、日焼け止め化粧品や美容液は堅調に推移したものの、全体的には横ばい傾向にあります。

健康食品業界は、健康志向の高まりを背景に、市場規模は引続き拡大を続けておりますが、新規参入による競争激化が顕著となっております。

このような経営環境のもとで当企業集団は、中期3ヶ年計画「CCPlan」に基づき、顧客基盤の強化を図る目的で広告宣伝費・販売促進費を前年同期に比べ4,244百万円多い15,995百万円を投入するとともに、店舗の改装、出店を積極的に行いました。

その結果、当第3四半期の売上高は66,251百万円(前年同期比3.3%増)となりましたが、営業利益は3,783百万円(前年同期比53.5%減)、営業利益率は7.0ポイント低下し、5.7%となり、経常利益は3,979百万円(前年同期比52.6%減)、経常利益率は7.1ポイント低下し6.0%となりました。

発芽玄米の新製法導入に伴うリース解約損を計上したことなどにより、第3四半期純利益は1,434百万円(前年同期比64.6%減)、第3四半期純利益率は前年同期より4.2ポイント低下し2.1%となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	78,245	65,931	84.3	3,098.15
16年3月期第3四半期	80,636	67,491	83.7	3,112.54
(参考)16年3月期	78,479	65,613	83.6	3,082.42

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	1,198	1,617	1,027	22,120
16年3月期第3四半期	4,158	3,231	3,159	24,133
(参考)16年3月期	5,861	4,118	4,532	23,561

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、22,120百万円となり、前連結会計年度末より1,441百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,198百万円となりました。この内訳の主なものは税金等調整前当期純利益3,531百万円、減価償却費1,815百万円による増加と、たな卸資産の増加708百万円、法人税等の支払額1,520百万円等による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,617百万円となりました。これは主に、店舗のリニューアルなどによる支出1,115百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1,027百万円となりました。これは主に、配当金の支払額によるものであります。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以上

[参 考]

平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	88,000	5,200	1,700

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 79円88銭

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績につきましては概ね予想どおり推移しており、現時点においては前回発表(平成16年10月29日)の業績予想に変更はありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)		当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	16,401		14,386		15,828	
受取手形及び売掛金	9,444		9,524		7,814	
有価証券	7,732		7,733		7,732	
たな卸資産	5,372		6,180		5,472	
その他	1,900		2,409		2,388	
流動資産合計	40,851	50.7	40,234	51.4	39,236	50.0
固定資産						
1.有形固定資産						
建物及び構築物	10,718		12,403		12,701	
土地	10,719		10,847		10,847	
その他	5,692		2,947		3,217	
有形固定資産合計	27,130	33.7	26,198	33.5	26,767	34.1
2.無形固定資産	1,974	2.4	1,280	1.6	1,636	2.1
3.投資その他の資産						
投資有価証券	1,007		1,107		1,083	
長期貸付金	999		985		1,007	
保証金	2,505		2,475		2,502	
その他	6,167		5,963		6,245	
投資その他の資産合計	10,679	13.2	10,531	13.5	10,839	13.8
固定資産合計	39,784	49.3	38,010	48.6	39,242	50.0
資産合計	80,636	100.0	78,245	100.0	78,479	100.0
(負 債 の 部)		%		%		%
流動負債						
支払手形及び買掛金	3,823		3,725		3,172	
未払金	2,851		3,080		4,273	
未払法人税等	1,631		1,278		1,105	
その他	1,995		1,513		1,471	
流動負債合計	10,301	12.8	9,598	12.2	10,022	12.8
固定負債						
退職給付引当金	1,175		1,120		1,196	
役員退職慰労引当金	1,183		1,108		1,210	
その他	484		485		437	
固定負債合計	2,843	3.5	2,714	3.5	2,843	3.6
負債合計	13,145	16.3	12,313	15.7	12,866	16.4
(資 本 の 部)						
資本金	10,795	13.4	10,795	13.8	10,795	13.7
資本剰余金	11,706	14.5	11,706	15.0	11,706	14.9
利益剰余金	51,198	63.5	50,897	65.1	50,528	64.4
その他有価証券評価差額金	18	0.0	22	0.0	54	0.1
為替換算調整勘定	20	0.0	4	0.0	4	0.0
自己株式	6,205	7.7	7,484	9.6	7,466	9.5
資本合計	67,491	83.7	65,931	84.3	65,613	83.6
負債・資本合計	80,636	100.0	78,245	100.0	78,479	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	64,107	100.0	66,251	100.0	84,956	100.0
売 上 原 価	22,048	34.4	22,643	34.2	29,260	34.4
売 上 総 利 益	42,058	65.6	43,607	65.8	55,696	65.6
販売費及び一般管理費	33,928	52.9	39,824	60.1	47,926	56.4
営 業 利 益	8,130	12.7	3,783	5.7	7,769	9.1
営 業 外 収 益	600	0.9	546	0.8	701	0.8
受取利息及び配当金	33		34		40	
その他営業外収益	567		512		661	
営 業 外 費 用	342	0.5	350	0.5	784	0.9
支払利息	2		-		2	
その他営業外費用	339		350		781	
経 常 利 益	8,388	13.1	3,979	6.0	7,686	9.0
特 別 利 益	0	0.0	57	0.1	0	0.0
特 別 損 失	1,227	1.9	505	0.8	1,472	1.7
固定資産処分損	95		204		340	
役員退職慰労金	176		18		176	
役員退職慰労引当金繰入額	858		-		858	
その他特別損失	97		282		97	
税金等調整前当期純利益	7,161	11.2	3,531	5.3	6,213	7.3
税 金 費 用	3,104	4.9	2,096	3.2	2,826	3.3
四半期(当期)純利益	4,057	6.3	1,434	2.1	3,387	4.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	7,161	3,531	6,213
減価償却費	1,857	1,815	2,556
賞与引当金の増減額(減少:)	276	289	60
退職給付引当金の増減額(減少:)	56	75	77
受取利息及び配当金	33	34	40
投資有価証券売却益	-	57	-
有形固定資産処分損	94	121	157
売上債権の増減額(増加:)	1,281	1,710	406
たな卸資産の増減額(増加:)	271	708	369
その他の流動資産の増減額(増加:)	430	218	228
仕入債務の増減額(減少:)	532	553	168
その他の流動負債の増減額(減少:)	22	859	811
その他	768	67	859
小 計	8,200	2,000	10,216
利息及び配当金の受取額	22	39	37
法人税等の支払額	4,565	1,520	4,954
その他	500	679	561
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,158	1,198	5,861
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	2,473	1,115	3,341
無形固定資産の取得による支出	571	163	584
投資有価証券の売却による収入	2	115	2
その他の投資の取得による支出	267	542	379
その他	78	88	184
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,231	1,617	4,118
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の返済による支出	287	-	350
自己株式の取得による支出	2,037	20	3,297
自己株式の売却による収入	-	1	-
配当金の支払額	834	1,008	884
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,159	1,027	4,532
現金及び現金同等物に係る換算差額(差益:)	4	5	20
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	2,236	1,441	2,808
現金及び現金同等物の期首残高	26,370	23,561	26,370
現金及び現金同等物の期末残高	24,133	22,120	23,561

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てております。

4.セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年同四半期(15.4.1~15.12.31)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,343	22,150	15,613	64,107	-	64,107
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	26,343	22,150	15,613	64,107	-	64,107
営 業 費 用	20,393	17,790	16,209	54,394	1,582	55,976
営業利益又は営業損失()	5,950	4,359	596	9,713	(1,582)	8,130

当四半期(16.4.1~16.12.31)

(単位:百万円)

	化粧品 関連事業	栄養補助食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	28,028	23,157	15,064	66,251	-	66,251
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	28,028	23,157	15,064	66,251	-	66,251
営 業 費 用	24,403	19,887	16,608	60,899	1,567	62,467
営業利益又は営業損失()	3,625	3,269	1,544	5,351	(1,567)	3,783

(注) 当期より「健康食品関連事業」は「栄養補助食品関連事業」に名称を変更しております。

セグメント別の状況

1) 化粧品関連事業

ファンケル化粧品は、基礎化粧品の活性化を図るため機能性を重視した製品開発を行い、8月20日に「マイルドクレンジングオイル」、9月21日に主カスキンケアシリーズ「フェナティ」のリニューアルを行いました。アテニア化粧品は、メイク製品を中心としたリニューアルを行ったほか、9月20日に高機能美白美容液「ナイトホワイトCC」を発売しました。

売上高

化粧品関連事業の売上高は、28,028百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

	平成16年3月期 第3四半期		平成17年3月期 第3四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
ファンケル化粧品	19,906百万円	75.6%	20,946百万円	74.7%	5.2%
アテニア化粧品	6,109百万円	23.2%	6,901百万円	24.6%	13.0%
その他	327百万円	1.2%	180百万円	0.7%	45.0%
合計	26,343百万円	100.0%	28,028百万円	100.0%	6.4%

	平成16年3月期 第3四半期		平成17年3月期 第3四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	16,571百万円	62.9%	17,417百万円	62.1%	5.1%
店舗販売	8,024百万円	30.5%	8,565百万円	30.6%	6.7%
その他	1,748百万円	6.6%	2,045百万円	7.3%	17.0%
合計	26,343百万円	100.0%	28,028百万円	100.0%	6.4%

通信販売は、17,417百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

ファンケル化粧品は、フェナティやマイルドクレンジングオイルなどの売上がリニューアル効果により増加したことに加え、季節限定製品が好調に推移し、11,006百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動と販売促進活動により顧客数が過去最高となり（12月末現在）、新製品、リニューアル効果もあって、売上高は6,408百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

店舗販売は、店舗スタッフの教育強化やオペレーションの見直し、店舗改装などにより既存店売上高が増加に転じました。また新規出店効果もあって、売上高は8,565百万円（前年同期比6.7%増）となりました。12月末店舗数は、ファンケルハウス107店舗（フランチャイズ2店舗を含む：当第3四半期中4店出店、1店退店、10店ファンケルハウスJに業態変更）、ファンケルハウスJ（旧ファンケルスタイル）29店舗（当第3四半期中9店出店、10店ファンケルハウスより業態変更）、アテニアショップ8店舗（当第3四半期中2店出店）、その他業態1店舗（当第3四半期中出退店なし）となりました。

その他の販売チャネルは、香港を中心とした海外向けが増加したことにより、2,045百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

営業損益

損益面では、滋賀工場の稼働や店舗人員増に伴う経費増に加え、製品リニューアルにあわせて広告宣伝費・販売促進費を積極的に投下した結果、営業利益は3,625百万円（前年同期比39.1%減）、営業利益率は前年同期に比べ9.7ポイント低下し12.9%となりました。

2) 栄養補助食品関連事業(旧健康食品関連事業)

栄養補助食品関連事業では、北海道大学、日本甜菜製糖株式会社と共同開発した新成分「ツイントース」を配合したミネラル4品目を4月21日、5月21日に改良発売しました。

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、23,157百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

	平成16年3月期 第3四半期		平成17年3月期 第3四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	12,281百万円	55.5%	12,364百万円	53.4%	0.7%
店舗販売	4,413百万円	19.9%	5,309百万円	22.9%	20.3%
その他	5,455百万円	24.6%	5,483百万円	23.7%	0.5%
合計	22,150百万円	100.0%	23,157百万円	100.0%	4.5%

通信販売は、12,364百万円(前年同期比0.7%増)となりました。コエンザイムQ₁₀が値下げ効果と健康情報TV番組で取り上げられたことにより記録的な売上を上げることができました。ツイントース配合のミネラル製品も堅調に推移しました。

店舗販売は、化粧品販売が中心のファンケルハウスでの販売が好調だったことおよびファンケルハウスに比べ栄養補助食品の売上が多いファンケルハウスJの店舗数が増加したことにより、売上高は5,309百万円(前年同期比20.3%増)となりました。12月末店舗数は、元気ステーションは9店舗(当四半期中出退店なし)、その他業態は2店舗(当四半期中出退店なし)となりました。

その他の販売チャネルでは、コンビニエンスストア向けが伸び悩んでおりますが、香港を中心とした海外向けが増加したことにより、5,483百万円(前年同期比0.5%増)となりました。

営業損益

損益面では、原材料価格の見直しを行ったことにより原価率は改善しましたが、ツイントースの認知広告など積極的な広告展開を行った結果、営業利益は3,269百万円(前年同期比25.0%減)、営業利益率は5.6ポイント低下し14.1%となりました。

3) その他事業

売上高

その他事業の売上高は、15,064百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

	平成16年3月期 第3四半期	平成17年3月期 第3四半期	伸び率
	金額	金額	
発芽玄米事業	4,203百万円	3,945百万円	6.1%
青汁事業	2,470百万円	2,613百万円	5.8%
いいもの王国通販事業	6,284百万円	5,447百万円	13.3%
その他の事業	2,654百万円	3,057百万円	15.2%
合計	15,613百万円	15,064百万円	3.5%

発芽玄米事業は、新製法により味・香り・食感を大幅に改善した発芽玄米を通信販売・店舗販売においては6月18日より、OEM供給については9月上旬から販売開始しましたが、通信販売顧客数の減少により売上は前年同期を下回りました。

青汁事業は、7月21日発売のツイントース配合粉末タイプが好調に推移したことにより売上は前年同期を上回りました。

いいもの王国通販事業(旧NGC通販事業)は、大幅な見直しを行ったカタログ販売が低迷し、季節商品も不振で、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

その他の事業は、肌着・雑貨の販売が堅調に推移したことにより、前年同期を上回りました。

営業損益

損益面では、下半期に入って回復傾向にあるものの、9ヶ月累計では、いいもの王国通販事業をはじめすべての事業において赤字幅が拡大したことにより、営業損失は前年同期に比べ947百万円悪化し、1,544百万円となりました。

《ご参考》

(要約) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末)		当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	9,571		6,041		9,300	
受取手形及び売掛金	7,697		7,884		6,472	
有価証券	7,732		7,733		7,732	
たな卸資産	2,970		3,585		3,179	
その他の流動資産	1,604		2,878		1,875	
流動資産合計	29,576	43.9	28,124	43.1	28,561	43.3
固定資産						
1.有形固定資産						
建物及び構築物	8,825		9,143		9,226	
土地	7,920		8,048		8,048	
その他の有形固定資産	2,437		1,939		2,173	
有形固定資産合計	19,184	28.5	19,131	29.3	19,448	29.5
2.無形固定資産	1,207	1.8	686	1.1	811	1.3
3.投資その他の資産						
投資有価証券	180		208		205	
長期貸付金	6,686		6,831		6,422	
保証金	2,249		2,188		2,225	
その他の投資その他の資産	8,229		8,042		8,226	
投資その他の資産合計	17,345	25.8	17,271	26.5	17,078	25.9
固定資産合計	37,737	56.1	37,089	56.9	37,338	56.7
資産合計	67,313	100.0	65,213	100.0	65,900	100.0
(負 債 の 部)		%		%		%
流動負債						
買掛金	2,419		2,483		2,371	
未払金	2,470		2,734		3,627	
未払法人税等	943		712		760	
その他の流動負債	1,803		1,146		1,181	
流動負債合計	7,636	11.3	7,076	10.9	7,940	12.0
固定負債						
退職給付引当金	778		875		804	
役員退職慰労引当金	1,183		1,108		1,210	
その他の固定負債	125		79		78	
固定負債合計	2,086	3.1	2,063	3.2	2,093	3.2
負債合計	9,723	14.4	9,139	14.0	10,034	15.2
(資 本 の 部)						
資本金	10,795	16.1	10,795	16.6	10,795	16.4
資本剰余金	11,706	17.4	11,706	18.0	11,706	17.8
利益剰余金	41,281	61.3	41,035	62.9	40,802	61.9
その他有価証券評価差額金	13	0.0	21	0.0	28	0.0
自己株式	6,205	9.2	7,484	11.5	7,466	11.3
資本合計	57,590	85.6	56,073	86.0	55,865	84.8
負債・資本合計	67,313	100.0	65,213	100.0	65,900	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。

(要約) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成17年3月期 第3四半期)		(参考) 平成16年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	50,319	100.0	52,021	100.0	66,448	100.0
売 上 原 価	18,150	36.1	18,226	35.0	23,850	35.9
売 上 総 利 益	32,169	63.9	33,794	65.0	42,598	64.1
販売費及び一般管理費	26,335	52.3	31,824	61.2	37,450	56.4
営 業 利 益	5,834	11.6	1,970	3.8	5,147	7.7
営 業 外 収 益	817	1.6	1,000	1.9	1,354	2.0
受取利息及び配当金	188		200		220	
その他営業外収益	629		799		1,133	
営 業 外 費 用	241	0.5	320	0.6	594	0.8
支払利息	2		-		3	
その他営業外費用	238		320		591	
経 常 利 益	6,409	12.7	2,649	5.1	5,906	8.9
特 別 利 益	-	-	-	-	-	-
特 別 損 失	1,238	2.4	409	0.8	1,461	2.2
税引前当期純利益	5,171	10.3	2,240	4.3	4,445	6.7
税 金 費 用	2,089	4.2	942	1.8	1,842	2.8
四半期(当期)純利益	3,082	6.1	1,297	2.5	2,602	3.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てております。